



③伊勢本街道の山 高城岳・三郎岳コース

佛隆寺

室生寺の南門と言われ、寺伝では、嘉祥3年(850)、弘法大師の高弟堅恵が堅興経を檀主として建立したと伝えられる。また、それ以前は興福寺の修円が住んだとも言われ、本尊は十一面觀音菩薩立像。宝形造りの石室(重要文化財)は、貞觀9年7月5日に入定した堅恵の墓と言われ、内部には鎌倉時代の五輪塔を安置する。また、寺宝として空海が唐から持ち帰ったと伝えられる茶臼が保存されており、境内には大和茶発祥伝承地にふさわしく野生化した丸葉の茶樹が自生している。

高井バス停



頭矢橋



三郎岳

山頂は360度開けており、東に青山高原、西に大阪などを望む事ができる。山頂から下ったところに、磨崖仏がある。

高城岳山頂からの眺め

三郎岳山頂からの眺め

369

全行程 約 10.4 km

高井バス停 -2.0- 佛隆寺 -1.6- 登山口 -0.7- 高城岳 -0.7- 三郎岳 -0.6-
伊勢街道下山口 -1.4- 諸木野集落 -0.6- 諸木野関跡 -2.8- 高井バス停

宇陀市ハイキングマップ

佛隆寺 - 高城岳 - 三郎岳 - 諸木野 (約10.4km)

大和茶発祥の古刹、佛隆寺を経由して展望の良い高城岳へ登り、宇陀市で一番高い三郎岳へ尾根を縦走するコース。桜、新緑、紅葉の季節が特にきれいで楽しめる。マイカー利用の場合、佛隆寺の駐車場が利用できる。

高城岳

神武天皇東征の伝承地、古事記・日本書紀に記されている「菟田の高城…」は、この地ではないかと言われている。頂上からは生駒、金剛・葛城、吉野などの山々が一望できる。



大力エデ

広船寺



諸木野関跡

